

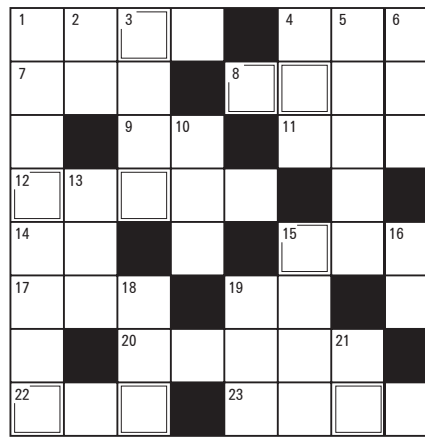
おおさか  
なんでもベスト10

水道の年間給水量  
(住民1人1日あたりℓ、2002年)

- ①吹田市 (351)
- ②交野市 (305)
- ③八尾市 (300)
- ④忠岡町 (299)
- ⑤高石市 (291)
- ⑥藤井寺市 (285)
- ⑦羽曳野市 (280)
- ⑧守口市 (277)
- ⑨豊中市 (276)
- ⑩太子町 (276)



(解き方)二重ワクの文字を並べ替えて意味の通る言葉にしてください。



ヒント：地球温暖化防止にむけ3月より発効。日本も約束したCO<sub>2</sub>削減目標達成へ動き出した。

- くろす  
わーど  
Q U I Z
- 〈タテのカギ〉
- ①新しく出来た中部○○○○○○○○
  - ②○○を天に任せる
  - ③英語ではマジシャン
  - ④今晚、今夜
  - ⑤豆男ともいう
  - ⑥個人の所有。○○○○地
  - ⑦合議して決定する
  - ⑧○○○○来て何やらゆかしすみれ草
  - ⑨ゆりかゝ
  - ⑩○○から出たまこと
- 〈ヨコのカギ〉
- ①不公平な審判に○○○○した
  - ②盗品と知りつつ買った
  - ③使いだ
  - ④不正
  - ⑤去年と来年の間
  - ⑥教え戒める言葉
  - ⑦手を挙げること
  - ⑧風。何と読む?
  - ⑨元素号はS
  - ⑩心をなごませてくれるもの。他になごみもあり
  - ⑪サケを沢山食べて冬眠
  - ⑫リハーサル
  - ⑬うしじと
  - ⑭内助の○○
  - ⑮気晴らし。○○○○に酒を飲む
  - ⑯本当に月に住んでるの?
  - ⑰かまくら。犯人を○○○○paw

出題者 山本汎昭さん

- 〔応募の方法〕  
解答の言葉・組合名・氏名・住所を書き、4月5日までに〒530-0000 大阪市北区天神橋1丁目13-15、大阪グリーン会館4F、大阪自治労連へ。解答と一緒に近況や感想を一言添えてください。
- 解答者の中から10人の方に図書券(千円分)を進呈。ハガキは「おたよりちょうだい」に掲載させていただきます。
- 2月号の解答と当選者  
2月号の解答は「ノロウイルス」。67通のハガキを頂きました。抽選で次の方に図書券(千円分)を送ります。
- 〈2月号の当選者〉  
増田 健一(堺市職労)  
矢野 京子(岸和田市職労)  
黒川 洋子(高石市職労)  
植林 明子(和泉市職労)  
水野 妙子(松原市職労)  
松本 和江(富田林市職労)  
葉山 和雄(羽曳野市職労)  
飛山 明美(寝屋川市職労)  
柿木 万美門(真市職労)  
古田 弘子(枚方市職労)

佐々木進(貝塚市職労)  
京都議定書が発効しましたが、本当に地球温暖化は止められるのでしょうか。各国の本気を見せてもらいたいものです。

おたよりちょうだい  
近々況々

椎原剛(貝塚市職労)  
先日、泉州マラソンを見学しました。70歳、80歳の方が多数走っていました。車で移動することが普通になっていくのが普通になっていくのが普通維持のためにも今年は少し走ろうかと思えます。

原田千代子(枚方市職労)  
生活発表会、卒園式と小さかった子もたちごと一回り大きくなったことが実感できる季節です。

林口きよ子(大阪市労組)  
部屋の模様替えをやりだした小6の娘。夫がふすまを貼り替え、私はカーテンを縫って協力。明るくなった部屋に大満足の様子。バレンタインにはチョコも手作りし、乙女心も芽生えている今日この頃。4月から楽しい中学生生活を送ってほしいものです。

近森みさ(松原市職労)  
この4月から娘が小学校へ入学。制服の学校で、カッターシャツ、ジャケット、スカートで約2万円。あと体操服、帽子など買わなければなりません。公立の学校なのに。なんでこんなにお金がかかるのよ...

杉瀬歌代子(八尾市職労)  
まだまだ寒い日が多い中、陽射しのやさしさと少し日が長くなったことで、春を感じます。隣の家の桃のつぼみがふくらみ始めてちよっぴり嬉しくなります。今年は4年ぶりにしまっているおひなさまを出そうかなと思っています。

くらしの知恵袋  
炭の効果

消臭や脱臭に竹炭を、浄水や炊飯には備長炭を使用している人も多いと思う。炭にはたくさんのパウアがあってここ最近注目されている。炭のカルウムなどのミネラル分が水をアルカリ性に変化させ、カルキ臭を吸収するし、お風呂によく洗った竹炭をネットに入れて湯をはる。すると肌をすべすべにする効果もあるんだよ。



シリーズ  
わがまち自慢の一品...121

能勢町 菊炭

「年寄りにはきつい仕事や」と言うのは、今年77歳を迎える小谷安義さん。大阪府職員を定年退職してから家の近くにある「名月窯」で毎年炭を焼き続けている。

窯は、能勢町の北東部にあり、今年77歳を迎える小谷安義さん。大阪府職員を定年退職してから家の近くにある「名月窯」で毎年炭を焼き続けている。

「炭づくりは大変な仕事なんやで〜」

茶道界で最高級の炭として大切にされているのが「菊炭」(写真下)。大阪府北摂地域や兵庫県川西市など能勢妙見山一帯でつくられているが、池田市周辺が集散地であったため「池田炭」とも呼ばれている。1〜3月にかけて伐採したクヌギを窯で焼いて炭がつくられる。



切り口から「菊炭」と言われている

「名月峠」を登ったところにある。大人が身をかがめてやっと入れるくらい入り口で、中は3畳くらいの広さ。ここに長さ約80cmに切りそろえたクヌギを立てて並べる。狭い中で無理な姿勢も強いながら、入り口まですぎ間がない。「すぎ間があるとやけど過ぎたり、白くなっていい炭が焼けないからね」。

冷え込んだ朝7時、一週間前に入れた炭を出す作業から始まる。炭出しをして次のクヌギを入れるまで半日。中に入れた火付けの木が燃える夕方まで燃やし続ける。そして入り口のふたをし、空気が入る穴を作ったり、煙りの状態をみながら調整して燃やし続け、2日後に火を消す。ここが長年の職人の勘・技なのだ。そして窯を完全密封して4日間蒸し焼きにして出す。炭が焼き上がるまでに6日間の作業だ。

「森の100人」にも選ばれた小谷さん

だ高温のまま。だから頭巾に綿入れを着て入る。「熱くて汗が吹き出す。ススで真っ黒にもなる。けど、しんどい言うてられへんしなあ」と、小谷さん。

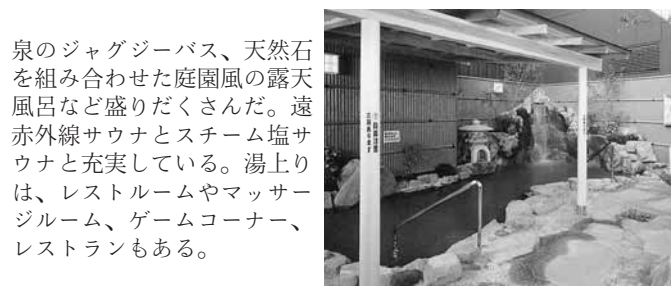
里山を守れ!  
能勢の自然を守れ!

一本の炭をつくるには、約6mに伸びたクヌギが必要だ。いい炭にするには直径8〜10cmの太さがいいという。そのクヌギを育てるには6〜8年かかる。「クヌギを切ると新芽が出て伸びる。その新芽をシカが食べてしまう。そうすると根っこまでダメになってしまうんや」。原木林の減少や山の手入れが行き届かない現状を嘆く。

「小さいころから山には親の手伝いでうはいつた。生活の変化で自然系態も変わってしまったなあ」と、小谷さん。自然と伝統を守り継ぎたいと願う。

ザ☆温泉  
兵庫県・尼崎市  
「あま湯ハウス」

JR「尼崎駅」西へ徒歩3分のところにある天然温泉。地下1300mから湧き出したという温泉は、名湯・有馬温泉の金泉によく似た赤茶色の湯の「千竜の湯」をはじめ、かなり大きな檜風呂、生薬を配合した洞窟風呂、ミネラル温



泉質：ナトリウム・塩化物泉 効能：神経痛、筋肉痛、冷え性、疲労回復 料金：大人1900円、子ども630円(24時間営業で深夜1時以降は割増料金)  
場所：尼崎市長洲西通1丁目10-48 電話：06-6489-1010

歴史のお散歩道 32

蕪村誕生の地 (大阪市・都島区)



「春の海 ひねもすのたり のたりかな」などの俳句で有名な江戸中期の俳人、与謝蕪村が生まれた摂津国東成郡毛馬村が、現在の大阪市都島区毛馬町だ。毛馬橋東詰から桜並木の道を歩けば、淀川大堰の雄大な眺めの堤防上に蕪村の強い郷愁の思いを表した代表作・春風馬堤曲(馬堤とは毛馬堤防のこと)の中の「春風や 堤長うして家遠し」の句が石碑に刻まれている。68歳で没した蕪村の墓は、京一乗寺の、俳句の聖地金福寺(芭蕉庵)にある。